第 **17** 講 【地誌編】ヨーロッパ，ロシア・極圏

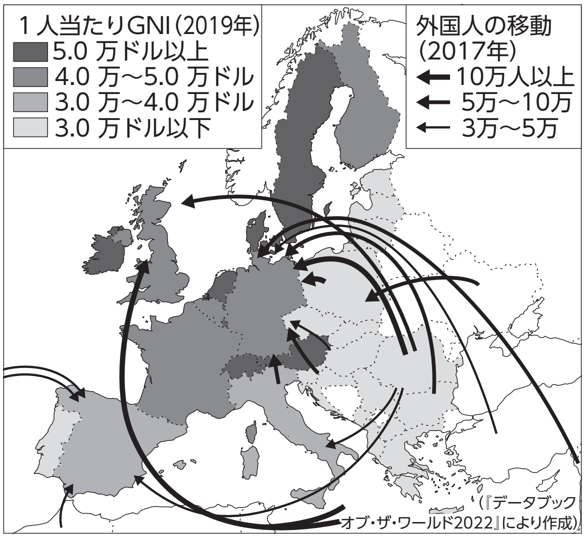
PART 3 現代のヨーロッパ

Chapter 1　EUの拡大と経済格差

目標　ヨーロッパにおける賃金水準の高低の分布を，おおまかに理解しよう。
ポルトガルやギリシャで，失業率が高い理由を考えよう。

1　EUの拡大と，広がる経済格差

・1967 年：〔　　　〕（**ヨーロッパ共同体**）成立。資本主義の**西側諸国**が中心となる。
・1970 ～ 90 年代：イギリスやスペイン・ポルトガルなどが加盟。
・1993 年：EC を引き継ぎ，〔　　　〕（**ヨーロッパ連合**）が成立。
・2000 年代：多くの旧〔　　　　　　　〕諸国（旧東側諸国）が加盟。
→経済水準の低い国を多く取り込むこととなり，域内の**経済格差**が一気に拡大した。
→**労働者**は安定した高収入の職を求め，「〔　　　　　　　〕」へ移動。
→**企業**は安価で豊富な労働力を求め，**工場**を「〔　　　　　　　〕」へ移転。
・経済水準の高い**西ヨーロッパ**の国々では〔　　　　〕が増加。**脱工業化**の進展と同時に〔　　　　　　　　　　　〕も見られるようになった。
・経済水準の低い**東ヨーロッパ**の国々では，**工業化**が進む一方，優秀な人材の流出も見られた。



ヨーロッパ諸国の 1 人当たり GNI と，外国人の移動

2　ヨーロッパ諸国の経済水準

1. 西ヨーロッパ（経済水準：高）

・**イギリス・フランス・ドイツ**など経済水準の高い国が所在し，多くの**出稼ぎ労働者**が流入。

・ドイツは世界的な〔　　　　　　〕メーカーを有し，GNI・1人当たりGNIともにヨーロッパ最大。近年は周辺国への工場移転が進む。

国名	人口（2020年）	GNI（2019年）	1人当たりGNI（2019年）
ドイツ	8,378万人	39,661億ドル	48,550ドル
フランス	6,752万人	27,718億ドル	42,290ドル

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

2. 南ヨーロッパ（経済水準：中）

・主に1980年代にECに加盟，**ドイツ**や**フランス**から自動車工場が進出した。しかし，2000年以降は東ヨーロッパへの工場移転が進んだため〔　　　　　　　　　　〕が生じた。

国名	人口（2020年）	GNI（2019年）	1人当たりGNI（2019年）
ポルトガル	1,020万人	2,335億ドル	23,150ドル
ギリシャ	1,042万人	2,036億ドル	19,690ドル

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

3. 東ヨーロッパ（経済水準：低）

・**旧社会主義国**が多く経済発展が後れたが，1990年代に市場経済化が進み，2000年代に入って多くの国がEU加盟を果たした。**安価で豊富な労働力**を求め，西ヨーロッパや東アジアから〔　　　　　　　　〕**型工業**の**工場**が進出し，工業化が進展した。

国名	人口（2020年）	GNI（2019年）	1人当たりGNI（2019年）
ポーランド	3,785万人	5,721億ドル	15,350ドル
ルーマニア	1,924万人	2,461億ドル	12,610ドル

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

まとめ

貸金水準は，西部で高く，南部で中間，東部で低い。
ドイツなどから自動車工場が進出したが，やがて，より安価な労働力が得られる東ヨーロッパへと工場が移転し，産業の空洞化が生じている。

Chapter 2　現代のEUの課題

目標　シェンゲン協定の発効によって，ヨーロッパで起こった変化を知ろう。
EU 離脱により，イギリス国内でどういった状況が生じただろう。

1　現在のEU

・**EU**：1993 年，〔　　　　　　　　〕**条約**により **EC** から改組されて成立。
・人・モノ・サービスの移動が**自由化**され，巨大な**自由貿易圏**を形成している。
・経済のみならず，将来的な**政治統合**も目指されており，現在では**欧州委員会**，**欧州議会**，**欧州司法裁判所**などの政治機構も設置されている。

＜近年の EU のあゆみ＞

年	内容
1985年	〔　　　　　　　　〕**協定**：EC時代に締結。現在のEUおよび一部の周辺国において，**国境における出入国審査が廃止**され，国境を越えた経済的・文化的交流が加速。
1999年	単一通貨〔　　　　　〕の導入：イギリスなど一部の国は導入しなかったが，多くの国で導入され，**市場の統一**が進む。
2009年	〔　　　　　　　〕**条約**：EUの**統治制度**の整備。欧州議会の権限強化など。

ユーロ紙幣

ユーロスター

2　移民・難民を取り巻く状況

・第二次世界大戦後，ヨーロッパ諸国は戦後復興のため，〔　　　　　　　　〕は**南アジア**から，**フランス**は**北アフリカ**から，**ドイツ**は〔　　　　　　〕から多くの**移民**を迎え入れた。

・ 2010 年代には，西アジア・北アフリカでの政情不安を背景に〔　　　　〕が急増。
→〔　　　　　　〕・**南スーダン**など。

・**シェンゲン協定**により域内の移動が自由であるため，難民はまず**東・南ヨーロッパ諸国**へとたどり着き，そこから手厚い〔　　　　　　　　〕や保護を求めて，北西部の経済水準が高い国を目指した。
→多くの移民が押し寄せる北西部の国々を中心に，国内で**社会保障費**の増大や自国民の**雇用圧迫**などといった問題が発生。一部の国では**移民・難民排斥**なども発生。

・近年は，難民が最初に到達した国でのみ難民申請が行えるように制度を変更。これにより北西部への無秩序な難民流入が防がれたが，**東・南ヨーロッパ諸国**の負担は**増大**している。

3　イギリスのEU離脱

・ 2020 年，〔　　　　　　　　〕が，**難民の受け入れ**や**経済的負担**を背景に EU を離脱。
→ EU 加盟国には難民受け入れ数の割り当てがあり，イギリスでは，異なる文化的背景を持つ人が増えることによる摩擦などが懸念された。
→経済大国イギリスは，EU への拠出金も多額で，国民 1 人当たりの負担金額も大きかった。

・ 2016 年，EU 離脱を問う〔　　　　　　　　〕が行われ，**離脱派**の票が残留派をわずかに上回り，離脱が決定。

・ EU 離脱により難民問題や拠出金の問題は軽減したが，為替レートの急落や，外国企業の工場が撤退するなど経済的な影響も大きい。東ヨーロッパ諸国からの出稼ぎ労働者が EU 域内へと移動してしまい，**労働者不足**の問題も起こっている。

まとめ

国境審査がなくなったため人の移動が活発化したが，一方で，経済レベルの高い国へ移民が集中した。
工場の転出による経済的影響や，出稼ぎ労働者が EU 域内の他国へと流出することでの労働者不足など。

第 17 講　PART 3　確認問題

1　EU の拡大について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1967 年に成立した EC は，資本主義の西側諸国が中心であった。
② 1970～90 年代には，イギリスやスペイン，ポルトガルなどが加盟した。
③ 1993 年には EC を引き継ぐ形で EU が成立した。
④ 東ヨーロッパの旧社会主義諸国が EU に加盟したのは，2010 年代以降である。

2　ヨーロッパにおける，労働者の移動と工場の移転の方角として，正しい組み合わせはどれか。

① 労働者の移動：東から西へ，工場の移転：東から西へ
② 労働者の移動：東から西へ，工場の移転：西から東へ
③ 労働者の移動：西から東へ，工場の移転：東から西へ
④ 労働者の移動：西から東へ，工場の移転：西から東へ

3　GNI と 1 人当たり GNI が，ともにヨーロッパ最大の国はどこか。

① イギリス　② イタリア
③ ドイツ　④ フランス

4　南ヨーロッパと東ヨーロッパについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 南ヨーロッパには，1980 年代にドイツやフランスから自動車工場が進出した。
② 2000 年代以降，南ヨーロッパでは産業の空洞化が生じている。
③ 東ヨーロッパでは，1990 年代に市場経済化が進んだ。
④ 東ヨーロッパには，現在西ヨーロッパや東アジアから知識集約型産業の工場が進出している。

5 ECから改組されてEUが成立した際の条約はどれか。

① ベルサイユ条約　② マーストリヒト条約
③ パリ条約　④ ローマ条約

6 EUのあゆみについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 現在では欧州委員会，欧州議会，欧州司法裁判所などの政治機構も設置されている。
② シェンゲン協定によって，EUおよび一部の周辺国において国境審査が廃止された。
③ 1999年に当時の全EU加盟国でユーロが導入され，市場の統一が進んだ。
④ 2009年のリスボン条約では，欧州議会の権限の強化などが決められた。

7 ドイツとフランス国内における，戦後復興期の主な移民の出身地はどこか。
① ドイツ：インドからの移民，フランス：北アフリカからの移民
② ドイツ：インドからの移民，フランス：ラテンアメリカからの移民
③ ドイツ：トルコからの移民，フランス：北アフリカからの移民
④ ドイツ：トルコからの移民，フランス：ラテンアメリカからの移民

8 イギリスのEU離脱について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 2016年にEU離脱を問う国民投票が行われた。
② EUを離脱した理由の一つは，EUへの拠出金が多額であったことである。
③ EUを離脱した理由の一つは，難民の受け入れへの懸念である。
④ EU離脱に伴い，アジア諸国からの出稼ぎ労働者がEU域内へと移動した。

第 17 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：④

ポーランド，ハンガリー，チェコなど東ヨーロッパの旧社会主義諸国が加盟したのは **2004 年**である。経済レベルのあまり高くない東ヨーロッパ諸国が加盟したことにより，EU 内の経済格差が広がった。

2 解答：②

東ヨーロッパと比べて西ヨーロッパは経済レベルが高いため，**労働者**は安定した高収入の職を求め，**東から西へ**移動する。反対に，**企業**は安価で豊富な労働力を求めて工場を**西から東へ**移転させる。

3 解答：③

ヨーロッパ最大の経済力を持つのは**ドイツ**。ドイツは，全世界においてもアメリカ合衆国・中国・日本に続き，世界第 4 位の GNI を持つ（2019 年）。

4 解答：④

東ヨーロッパには，西ヨーロッパや東アジアから**労働集約型工業**の工場が進出している。労働集約型工業では多くの人手を必要とするため，安価で豊富な労働力を有する場所へ工場が進出する。

5 解答：②

EC から改組されて EU が成立した際の条約は，**マーストリヒト条約**である。

6 解答：③

1999 年に EU 加盟国でユーロが導入されたが，全 EU 加盟国が導入したのではなく，**イギリス**，スウェーデン，デンマークなどではユーロを導入しなかった。

7 解答：③

戦後復興期において，ドイツの主な移民は**トルコ**から，フランスの主な移民はアルジェリア，モロッコなどの**北アフリカ**からやってきた。

8 解答：④

イギリスの EU 離脱に伴い，**東ヨーロッパ諸国**からの出稼ぎ労働者が EU 域内へと移動した。